



移住者名 長富幸子

都道府県 山口県 見島

移住先 岡山県⇒見島

移住年 2018年

職業 会社員(料理教室運営)⇒地域おこし協力隊

家族構成 単身

移住形態 Uターン

## Q. 移住したきっかけは？

出身が見島なので「いつかは地元の島で何かしたい」という漠然とした思いは以前からありました。私の場合はきっかけが2回。

1回目のきっかけは東京での仕事を辞めると決めた時に、短期住み込みで働いた瀬戸内海にある直島での生活でした。島での生活は時間の流れが都市部とは違いゆっくりで、人との出逢い、景色、食など都会ではあまり意識していなかった部分と向き合う時間が長くなり「島暮らし」を意識するようになりました。

その後岡山に引っ越し以前から興味があった食関係の仕事に就きますが、父の発病で頻繁に地元見島に帰る回数が増えたことが2回目のきっかけです。その時に初めて「自分の知っている景色がなくなっていく」という現実を意識し、見島に帰ることを考えました。

そのタイミングで偶然にも見島での地域おこし協力隊の募集を知り、応募して今に至ります。

## Q. 移住の際不安に思ったことは？

今年の1月に引っ越しましたが日本海側の離島なので冬場は海が時化て欠航が続くこともあり、外出がしにくく生活面や仕事面での不安がありました。船便も2～3便と少ないので、思っていた以上に移動がしにくく最初はストレスになることも。こういった環境を周囲の方に理解して頂くことで自分が動きやすい状況を作るのは大切だと思います。生活面では、有難いことに食材を頂くことも多いです。日用品はネット通販などもうまく利用すれば、不便な点はほとんどありません。また見島は特定有人国境離島地域に指定されている為、島民は船賃が半額。以前よりもかなり外出しやすくなっています。

対人関係でいえば、地元とはいえ15年も離れていたのが当初ほとんど知り合いもおらず、どうやって関係性を築いていくか手探りでした。

## Q. 移住して良かったことは？

地域行事やクラブ活動など積極的に参加している中で、世代・職業をこえた友人・知り合いが沢山増えました。正直、見島でこんなに知り合いが出来るとは思っていませんでした。仕事で移住されてきた方は2～3年の期間で異動される方が多く、せっかく仲良くなったのに春には異動…ということも多々あり寂しく感じることは多いです。でも考え方をかえると「色々な場所に見島で過ごした方がいるんだ！」と思えるから何だか嬉しいですね。

地域おこし協力隊の立場としていうならば、そういう方が過す見島での時間がもっと楽しくなるように、また関係性がずっと続くような島での取り組みをしていきたいなと思います。以前は料理教室で働いていたので、地域の方にパン教室や料理教室を開いたり、休みの日は移住者同士で持ち寄りパーティーをしたりと楽しく過ごしています。



## Q. 移住を考えている方へメッセージ

起業するにしても、理想の島暮らしをするにしても、地域の方との関係性なしには小さな島ではうまくいかないと感じています。私自身は地域おこし協力隊という立場上、最初はどのような距離感で地域の方と関わった方がいいのか戸惑う部分が多かったです。でも出来ないことは出来ない、なぜ出来ないのかもきちんと自分の言葉で正直に話して理解してもらおうということを意識しています。自分という人間を知ってもらおう為・この島の方達と長くいい関係を築いていく為にも、自分の思いをはっきり言う部分は必要だと思っています。「顔が見える距離」の関係性の島だからこそ、人との関わり方について、感謝することが多く有難いです。そういう場所は最初は不安があっても住んでいくうちに、どんどん好きになっていくんだと実感しています。